"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２１年７月 ～ ２０２２年６月

国際会長主題　「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題　「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事主題　「私たちは次の世代のために何ができるか？」
東新部部長主題　「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

会　　長　土井　宏二
副 会 長　一
直前会長　今井　武彦

書　　記　今井　武彦
会　　計　髙津　達夫
担当主事　山梨　雄一

２０２２年２月本例会（720回）

（ 強調月間：ＴＯＦ／STEP／YEEP ）

今　月　の　聖　句

知恵はその人の顔を輝かせ、その顔の険しさを和らげる。　（コヘレトの言葉 8-1）
Wisdom makes one's face shine, and the hardness of one's countenance is changed.　(Kohelet 8-1)

２月 本例会（Zoom方式による）

日 時　2022年２月１５日（火） 18：00～19：45

ＵＲＬは１２日頃、城井廣邦君より送信されます

２月 ＴＯＦ／ＳＴＥＰ／ＹＥＥＰについて

TOF＝Time of Fast：断食の時の略で、例会の食事を抜き、国際協会に献金、途上国等の支援に充てる。
STEP＝Short Term Youth Exchange Program ：18才~25才のワイズ子弟を、海外短期交流派遣制度。
YEEP＝Youth Educational Exchange Program ：ワイズの子弟の高校留学生交換事業。　(長谷川 記)

HAPPY BIRTHDAY

27日　福島 和州太郎

結婚記念日おめでとう

17日　今井 武彦・みどり

年賀切手等でCS資金を集めよう！！

・年賀状 切手シート拠出にご協力ください。

・一人 1.250円のCS献金にご協力ください。

２月　本例会（Zoom）プログラム

	司 会　福島 和州太郎
開会点鐘	会 長　土井 宏二
ワイズソング	一 同
ゲスト・ビジター紹介	司 会
今月の聖句・感謝	今井 武彦
参加者全員による新春放談	
「　昨年の反省と今年の抱負　」	
強調月間アッピール	長谷川 正雄
ハッピーバースデー・結婚記念日	司 会
スマイル	城井 廣邦
諸報告	
閉会挨拶	神保 伊和雄
閉会点鐘	会 長　土井 宏二

２０２２ 年 １ 月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	5,000 円
正 会 員	10 名	出席(メネット)	0 名	土井宏二 1/25 第二例会	ＢＦポイント　現金累計	0 円
功労会員	1 名	出席(コメット)	0 名	城井廣邦 1/8 在京Y新年会	切手累計	
在籍者数	11 名	出席(ゲスト)	0 名	福島和州太郎 在京Y新年会		
出席(正会員)	6 名	出席(ビジター)	0 名	3 名	リングプル　累　計	325.2 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	7 名	１月出席率　90 %	むかで基金　今月分	26,700 円

会費振込先　みずほ銀行　亀戸支店　（普通）３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

１月　本例会報告

1月本例会は11日（火）17：30より、東京・東京むかで・東京たんぽぽの3クラブ合同例会として昨年に続き、東京YMCA東陽町センターYMCAホールに於いて、ハイブリッド方式で開催されました。

春日井明君（東京）が司会、比奈地康晴会長（東京）の開会点鐘に続き、ワイズソングを斉唱。聖書朗読、お祈りを越智京子君（東京たんぽぽ）が車椅子を使用して行いました。ゲスト・ビジター紹介を各クラブ会長が行い、その後、賑やかにハッピーバースデー・結婚記念日をお祝いしました。【写真＝新渡戸稲造について話された小野祥子さん】

新年の卓話者は、東京クラブ池田麻梨子担当主事の大学時代からの恩師で、前東京女子大学学長の小野祥子氏が紹介され、『男性と共に歩む女性のエンパワーメント～新渡戸稲造に学ぶ女性の自立～』と題し話されました。

1948年、新制の東京女子大学を語る時、新渡戸稲造初代学長自身の生涯の中で培われた、建学の精神や基礎創りへの流れを紹介する必要があります。1862年森岡藩主の三男として生まれ10歳前に上京、後に札幌農学校、東京大学選科入学等、幼少期から教育環境に恵まれました。24歳の時に米国留学、ジョンズ・ポプキンス大学で学び、妻となる米国人メリー・エルキントン（日本名：萬里）と出会い、結婚。帰国後、札幌農学校の教授に就任。学問の場に恵まれない子供達に「遠友夜学校」を設立、新渡戸亡き後も夫人が継ぎ、2,000名以上の学生を輩出します。

人格の尊重、男尊女卑の甚だしい時代の中で、女性の人格尊重を説き、表明する姿勢は、現在にも通ずるものです。更に「男性は縦糸、女性は横糸」、縦糸横糸とも強くなければならないとして、改めて女性も学業の必要性を説かれました。世界のベストセラーと言われる「武士道」の英文初版はその頃の発行です。初代学長として2年弱で退任されたが、その想いは現在も引き継がれています。二人の幅広い活動の時から一世紀後の現在、真の女性の自立はいかがでしょうか？ と卓話者からの問いかけでした。

ジェンダーギャップ（社会的性差別）が叫ばれています。日本の国際的評価は高いとは言えず、ジェンダーギャップ指数で日本は156か国中の120位、政治界では、何と147位です。それは女性ひとりの個性と人格が尊重される、と云う共通認識の浸透が、まだ足りないからです。男性が先ず女性を一人の人格者として認めるべきです。女性も一人の人格者としての責任を持つ事が併せて求められます。

まとめます、と断られた上で、社会的性差別や社会の不平等もなくなりませんが、改めて『縦糸、横糸が織り合って強い織物になる』と結ばれました。コロナ対応に配慮の会場に、小野祥子前学長の熱い想いが響きました。

スマイルは迫川由和君（東京）が呼びかけ、クラブごとに集められました。閉会前に東京クラブのプログラム通り、YMCAの歌を歌い、比奈地会長の閉会点鐘で1月合同例会が閉会となりました。　（長谷川 記）

出席者 リアル：伊丹、今井、神保、髙津、長谷川、山梨
Zoom：櫻井、
卓話者：小野祥子氏（東京女子大学前学長）
東京クラブ　リアル：15名、Zoom：6名
東京たんぽぽクラブ　リアル：5名、Zoom：2名
出席者総数　35名（東京むかでクラブ共）

在京ワイズクラブ新年会報告

1月8日（土）13：00から東京YMCA東陽町センター・YMCAホールで、ハイブリッド方式で開催されました。

今年の開催幹事は、当むかでクラブが担当しました。クラブメンバーは10：00集合、会場設営、配布資料の袋詰め、パワーポイントによる配信画像テスト等を実施しました。

当日の会場参加者は、在京17クラブ代表1名。残りクラブメンバーの方々は、Zoomでの参加をお願いしました。結果は、会場代表参加クラブは12クラブ16名、Zoomでの代表参加クラブ4クラブ、その他に50名近くの方々がZoomでの参加となりました。

第一部は、むかでクラブの土井宏二会長の点鐘でスタート。聖句朗読と祈祷に続き、東京YMCA菅谷淳総主事、東日本区大久保知宏理事から新年のご挨拶をいただきました。　【写真＝第二部で講演する甲斐和歌子さん】

第二部は、特別講演として『思い出のランドセルギフトに

ご協力を!～タリバンの心を動かした人～』と題して、NGOジョイセフの櫻井啓子理事（むかで・櫻井メネット）の挨拶、続いて同NGOのプログラム・オフィサー甲斐和歌子氏の講演をいただきました。講演内容は、昨年10月以降のアフガニスタン、タリバン統治下でのランドセル配布状況について映像を使い、説明が加えられました。タリバンも賛同を示された様です。

タリバンを恐れ、女性が表に出ない今、男女平等の教育を象徴するランドセルを、贈り続ける意味があるのです。

続いて、司会の城井廣邦君より、チラシを使って具体的に、ランドセルギフトの送り方の説明がおこなわれました。

第三部は、参加クラブアピールタイムで、会場参加クラブとZoomでの参加クラブが、各クラブの活動状況をアピールしました。引続き、東京YMCA中里敦担当主事より連絡があり、土井会長の閉会点鐘で終了しました。

出席者：土井、伊丹、今井、城井、長谷川、福島、山梨、櫻井メネット

Zoom参加：髙津、櫻井　（今井 記）

会　長　通　信

寒さが厳しい日が続きます。ベッドを離れる時刻が日々遅くなり、最近では8時近くまでモグモグしています。第二例会で私の我儘をご理解いだき感謝申し上げます。いろいろ申し上げたいことはありますが、去る者が何を言っても愚痴になるので止めておきます。

私は何時も不思議に思っていますが私だけでしょうか？ワイズ7不思議 ①会員1,000名余の組織巨大化 ②会則は誰のためか ③会員増強は目的ではなく、入会したくなる会を考え結果として増 ④民間レベルに比べ経費無視無駄が多い ⑤ボランティアクラブでの参加率基準数値での表彰および表彰金 ⑥クラブごとに違う会費 ⑦年度会計が基本、会議の日程上では論外、多分社会人気質が抜けきれずお節介をしたくなったと思います。いつまでたっても駄目ですね。

まだまだありますが今回はこの辺で「口と財布は締めるが得」。私には無理ですが「口は是人を傷つける斧」に気を付け、残り6か月宜しくお願いします。　（土井 記）

＜２月の予定 ＞

1日（火）東京むかで・ブリテン印刷会（16:00～）
1日（火）東京多摩みなみ・2月本例会
8日（火）東京・2月本例会
10日（木）東京センテニアル・2月本例会
12日（土）東新部EMCセミナー（13:30～ Zoom）
14日（月）東京町田コスモス・2月本例会
15日（火）東京むかで・2月本例会 18:00～ Zoom
16日（水）東京町田スマイリング・2月本例会
18日（金）東京世田谷・2月本例会
22日（火）東京むかで・第二例会 18:00～
26日（土）北海道部部大会（1月19日付 中止決定）

＜３月以降の予定 ＞

1日（火）東京むかで・ブリテン印刷会（16:00～）
15日（火）東京むかで・3月本例会 18:00～
22日（火）東京むかで・第二例会（18:00～）

誰に聞くの？ 最近の元若者事情

お散歩の話、野尻学荘の元荘長MT氏、東京むかでのチャーターメンバーのAE氏、最近まで元東京むかで長老格のMH氏、そしてZI氏などとよく新春にぶらぶら散歩に出向いたものでした。若さに欠ける年頃となり、合わせてコロナと重なり、このところ数年はコタツならぬ、ホットカーペットのお世話になり、ゴロゴロしている今日この頃です。

上野公園、谷中、千駄木をぶらーり。隅田川に架かる橋を訪ね、そして月島もんじゃ街。六義園から染井吉野のふるさとから巣鴨のとげぬき地蔵。美土代町の東京YMCA跡地からニコライ堂、上野を通り浅草へ。などなど、旧江戸の街をお茶とお菓子や美味しい食事を楽しみ世間話をし乍らぶらぶらしたものです。更にこの散歩から新たな食味歩きが誕生しました。ただ今お休み中のST氏、お目付け役、千葉からHM氏を仲間にし、成田山へお寺参りでなく、ウナギ詣でを開催。その後“成田で鰻をめでる会”を立ち上げ、残り限りある人の世の楽しみを仲間で味わっていました。

健康が一番・気力が二番・若さが三番。

デルタ・オミクロンなどコロナ**covid**_19や我らの歳のせいではなく、やむなく騒ぎが終わるまで延期、再開は何時？

散歩も体調に恵まれ、親しい仲間と和気藹藹するのが良い。今年も元気に溢れ、活力ある、歳に応じた、夢ある、愉快なワイズライフをみんなで楽しみたいものです。

孫へのお年玉！？悩みの種でした。でもこれで解決！お年玉はジャンケン（グー・チョキ・パー）で楽しみました。続きはまたこの次ね！ カイ・バイ・ボー　（愛人慕 記）

「思いでのランドセルギフト」報告

「思い出のランドセルギフト」 プロジェクトいよいよスタート。

NGOジョイセフの「思い出のランドセルギフト」プロジェクトは、ワイズのネットワークを使ってランドセルを集め、アフガニスタンの子どもたちへ届けるプロジェクトです。昨年3月からスタートしたプロジェクトは、12月に正式に実行委員会が発足しました。

主催は、昨年3クラブ合同DBCを締結した記念事業になり、神戸ポート・石巻広域・東京むかでが主体となって運

営することが決定しました。実行委員長は東京むかでの城井、事務局長は清水弘一ワイズ、事務局は川上直哉ワイズ、書記は大野勉ワイズ、企画は城井となりました。実行委員会の委員はスタート時のメンバーがそのまま就任していただけました。セブンイレブンINCより1万ドルの寄付をいただき、NGOジョイセフに振り込まれました。事務局は東日本大震災で実績のある東北ヘルプにお願いし、運営することになりました。体制が整ったことでいよいよ活動を開始することになりました。

1月31日には、全国優良石材店の会から寄付されたランドセル100個、石巻NPOから頂いた50個、川上事務局員が石巻、北上に寄って、あわせて150個以上のランドセルをジョイセフの横浜倉庫へ届けます。年間で500個以上を目指し、ランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ届ける活動を続けていくつもりです。アフガニスタンの子どもたちへ届ける時、日本からのメッセージを入れて送るとか、日本の子どもたちの思いを一緒に送りたいと考えています。そして、ランドセルを送るプロジェクトを今後継続していけるよう頑張っていきたいと考えています。「思い出のランドセルギフト」を機会に、多くの方々と交流を深め、ワイズの活動関心を高めていきたいと期待しています。（城井 記）

１月第二例会報告

1月25日（火）午後6時よりZoom方式で、東新部部長公式訪問の第二例会が開かれ、最初に松香光夫部長のご挨拶の後、議事に入る。主な検討、確認事項下記の通り。

1 ブリテン2月号について

・ 編集内容の検討、確認など。印刷会は東陽町センターで2月1日（火）16:00より、コロナ対応の上行う。

・ 卓話は予定せず、参加者全員の「新春放談」とする。

2 次期クラブ役員は下記とし、東新部宛て連絡する。

会長：今井武彦、書記：伊丹一之、会計：福島和州太郎

3 髙津会計より区へ自由献金期限内の納付、他の報告。

4 ご参加の部役員の皆様から、ご挨拶、評価をいただく。

＊CS資金及び、年賀はがき当選切手拠出にご協力を！

当選番号 下2桁： 54 ・ 50 ・ 02 （長谷川 記）

出席者：土井、伊丹、今井、城井、神保、髙津、長谷川、山梨主事

部役員：松香光夫部長、権藤徳彦書記、石田孝次会計、佐藤茂美監事

東京ＹＭＣＡニュース

▼ バングラデシュの7つのYMCAが運営するNFPE（働く子どもたちの学校）は、コロナ禍で休校が続いている。児童とその家族を支援する為、東京YMCAは国際協力募金から約12,000ドルを送金した。現地では10月から12月の期間に、YMCAスタッフ、教師、ボランティアが各家庭を訪問し、7つの地域で計235世帯に、食料（米・豆・油・ミルク等）、教材、マスク等の支援物資を届けることができた。

▼ 10月に開催されたインターナショナル・チャリティーランの支援金により、初めてウエルネス東陽町と山手ウエルネスで障害児を対象とした「特別支援短期水泳教室」を冬休み中に実施。参加者やその家族から好評であった為、春休みにも実施する予定。他に、チャリティーランの益金は、障碍児の日帰りプログラム、放課後等デイサービス、障碍児を理解する為の講演会等の支援に用いられる。

▼ 会員部より、会員や関係団体等に「クリスマス募金」の協力をお願いし、個人・団体合わせて174件、総額1,940,500円のご支援を頂いた（1月13日現在）。国際協力募金、災害復興支援、フレンドシップファンド、障碍児プログラム支援等のために用いる。 （山梨 記）

1月会計報告 ・ リングプル報告

1 月間収入・支出合計 期間 1/1～1 /31

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	6,600円	18,900円
活動基金部	20,100円	10,000円

経常収入：部費戻り、弁当売り上げ

経常支出：例会弁当、通信切手

活動基金収入：スマイル、寄付(DBC 原資支援)、CS 献金

活動基金支出：スピーカー謝礼 （髙津 記）

2 リングプル 1月預かり分

コロナの影響か、開店休業状態です。ゼロ行進が続いています。 （神保 記）

編集後記

ブリテン2月号をお届けします。むかでクラブのブリテン編集は、メンバーの輪番制で進められます。後記を書き、まとめが終わると、写真の貼り付けなど最終調整担当者に渡り、同作業後、印刷会。最終作業担当者は、この数十年間交代もなく、淡々と縁の下でこの作業に取り組まれ、印刷会、発行を迎える事が出来ています。編集担当時は、そのご苦労を身近にと、思うのですが・・・感謝！（長谷川記）